

事業報告書

I 事業概要

令和4年度は、各事業所の安定した収入確保、感染症発症ゼロ、身体拘束ゼロ、骨折事故ゼロ、職員の接遇マナー向上、人事考課制度の効果的運用、職場内研修の充実、地域に開かれた事業所、SDGsに沿った運営を事業運営の目標とし、それぞれの実施状況は概ね次のとおりでありました。

1 各事業所目標数値を掲げ、安定した収入確保を目指します。

(1) こうのとり荘(長期・短期を併せた1日平均利用者数)

	目標	実績
令和2年度	138人	137.6人
令和3年度	138人	135.9人
令和4年度	138人	134.3人

(2) コスモス荘(長期・短期を併せた1日平均利用者数)

	目標	実績
令和2年度	60人	57.1人
令和3年度	60人	55.4人
令和4年度	60人	55.2人

(3) 加陽いちごの里(1日平均利用者数)

	目標	実績
令和2年度	16人	15.7人
令和3年度	16人	15.2人
令和4年度	16人	14.7人

(4) 豊岡やなぎの里(1日平均利用者数)

	目標	実績
令和2年度	20人	21.0人
令和3年度	20人	21.1人
令和4年度	20人	19.7人

(5) こうのとり居宅支援センター(ケアマネ一人あたりの月平均の担当件数)

	目標	実績
令和2年度	36人	34.8人
令和3年度	36人	34.5人
令和4年度	35人	33.6人

※地域サポート施設 令和5年3月31日付契約利用者数 11人

地域サポート型施設については、コロナ禍3年目の不安を抱えるご利用者に安否確認サービス・自宅訪問サービス等で安心・安全を提供し、安定した在宅生活の継続に努めました。

2 新型コロナウイルス・感染性胃腸炎・インフルエンザ等の感染症発症ゼロを目指します。

令和4年度のコロナ禍3年目も、昨年度同様に感染症対策委員会等にて情報交換と協議を重ねワクチン5回目接種を行うと共に、感染拡大防止対策を徹底強化してきました。職員においては日常の体調管理と確認を徹底し、定期抗原検査を実施しました。そして同居家族の感染拡大防止対策への協力をいただき、職員一人ひとりが「持ち込まない、広げない」の強い意識と責任と使命のもと取り組んでまいりましたが、このとり荘・コスモス荘で利用者・職員に多数の感染者を認める事態となりました。多くの利用者・ご家族へ負担と心配とご迷惑をおかけしたことを深く反省し、職員個々が感染症の基礎知識と介護事業所における感染症の特徴を理解し、防止対策と技術向上についての啓発活動（事業会内研修）を行い、感染者確認時、広げないための対応マニュアルの周知徹底に努めます。

平成30年度	インフルエンザB(12月中旬) インフルエンザA(1月下旬)
令和元年度	インフルエンザA(1月下旬～2月上旬)
令和2年度	なし
令和3年度	新型コロナウイルス(2月上旬～3月下旬)
令和4年度	疥癬(4月上旬～、8月上旬～) 新型コロナウイルス(4月上旬～5月上旬)(このとり荘本館) 新型コロナウイルス(12月下旬～1月上旬)(このとり荘別館短期入所者) 新型コロナウイルス(12月下旬～1月中旬)(このとり荘本館) 新型コロナウイルス(3月下旬～4月中旬)(コスモス荘)

3 身体的拘束ゼロ、骨折事故ゼロを目指します。

事業会では「身体的拘束適正化・事故・安全対策及び虐待防止検討委員会」を毎月開催し、ご利用者の尊厳と主体性を尊重しながら、拘束を安易に正当化することなく、職員一人ひとりが身体的・精神的弊害を理解し、拘束廃止に向けた意識をもち、身体的拘束をしないケアへの取り組みを確認・検討・実行しました。令和4年度は身体的拘束2件、骨折事故12件を認めました。ご利用者は高齢や疾病による体力低下、認知

能力低下等により重大な事故につながるリスクが高い中、「その人らしい生活」を保障しながら事故発生を未然に防ぐための安全配慮も適宜行うと共に、事故発生時には迅速・的確に対応処理することで被害の拡大を予防し、原因を明らかにすることで再発の防止に努めました。

4 職員の接遇マナーを向上し、ご利用者に心地よい居場所の提供を目指します。

令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、毎年全職員が4班に分けて参加しての「接遇・マナー研修」は中止しましたが、接遇マナーの向上に向け、「基本理念」を行動の規範として再確認すると共に、毎月標語を定め指針にし、各事業所・係内にて標語に準じた様々な事例のシミュレーションを「気持ちの良いあいさつ」・「相手に対する配慮」を中心に実践的に学び、接遇接客対応の基本として普段の業務に活かしました。

5 人事考課制度の効果的運用を図り、的確な処遇決定と人材育成が両立できる組織を目指します。

一次考課者である主任を増やし考課者研修を重ね、指導体制を強化することにより、的確な業務把握ができ、上司と部下とのコミュニケーションが円滑に図れました。令和4年度は、令和3年度総合評価を3段階(高・中・低)で判定し、高・低の結果には±2.5%を賞与に反映しました。

6 職場内研修の充実を図るとともに、外部研修に参加する。そして資格取得支援の充実を図り、職員のスキルアップを進めます。

令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、職場内研修は少人数での研修を実施しました。外部研修はオンライン形式の研修へ、これまでと同様に積極的に参加し、職員の資質向上を図るとともに、法人全体の専門性の向上を図りました。

※表1

 参照

7 地域住民の皆様との連携を強化し、地域に開かれた事業所を目指します。

令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮しながら、地域サロンへは参加しましたが、「地域ふれあい交流会」・「いちどきん祭」など不特定多数での交流行事は中止しました。また、日高高校福祉科の介護施設実習については、学校サイドと連携を密に取り、感染症対策を徹底した上で受け入れを実施し、生徒へ貴重な介護実習の機会を提供することができました。

※表2

 参照

8 SDGs に沿った運営を目指します。

2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された国際的な目標であるSDGs（エス・ディー・ジーズ）に沿って、

環境面では、毎月、電気・ガスなどエネルギーの使用量やコピー用紙等の使用枚数に注意を払い、エネルギーの省力化・環境負荷低減などに努めました。

社会面では、当法人の業務は人材が全ての柱であるため、待遇面の向上のみならず、人事考課の有効活用・ジェンダーギャップの解消などで、努力する者が報われるような「働きがいのある職場、環境」を常に意識して取り組みました。

統治面では、当法人職員は社会福祉法人職員として高い倫理観が求められるため、法令遵守はもとより、積極的に社会問題の周知と注意喚起を図り、加速度的に変化する社会情勢に対応しました。

表1 令和4年度事業会内研修（実施）

実施予定月	研修名	責任部署等
4月	新人職員研修（1日目）	介護課
	キズナシステムについて（タブレット導入に向けて）	事務係
	在宅酸素ボンベ同調機の取り扱いについて	やなぎの里
	手洗い研修	コスモス荘
	契約・倫理・個人情報の取り扱い	居宅支援センター
5月	指定介護老人福祉施設重要事項と長期入所について	相談係
	個人情報保護（プライバシーを含む）について	相談係
	デイで行う接遇、プライバシーの保護	やなぎの里
	訪問介護について	コスモス荘
	介護支援専門員の接遇マナー	居宅支援センター
6月	新人職員研修（2日目、3日目）	介護課
	ドクターメイトについて	
	「利用者の事故・容態急変時及び終末期・死亡時の対応要領」及び「緊急時対応要領」について	介護課
	感染症嘔吐物処理実践研修（ガウンテクニック含む）	コスモス荘
	介護保険・書類の確認、職員間のマナー	居宅支援センター
7月	総合防災訓練・防犯訓練	事務係
	接遇マナー研修	マナー研修担当
	タブレットの活用	やなぎの里
	食中毒防止研修	コスモス荘
	社会資源・インフォーマルの必要性	居宅支援センター

8月	令和4年度新人等考課者研修(法令遵守指導を含む)	総務課
	復名報告	コスモス荘
	災害対策マニュアルの確認	居宅支援センター
9月	拘束なき介護について	介護係
	事故防止について(事故発生等緊急時の対応に関する研修)	介護係
	アンガーマネージメント研修(身体的拘束適正化・事故防止に関する含む)	コスモス荘
	アセスメント	居宅支援センター
10月	総合防災訓練	防災担当責任者
	リハビリについて	コスモス荘
	高齢者の疾患のポイント、マスク着用時のコミュニケーション	居宅支援センター
11月	感染症(インフルエンザ、感染性胃腸炎)について	医務係、調理係
	感染症嘔吐物処理実践研修	いちごの里
	感染症嘔吐物処理実践研修(ガウンテクニック含む)	コスモス荘
	虐待防止セルフチェック・不適切ケアチェック マナー研修、デイサービスの加算について	やなぎの里
	感染症対策	居宅支援センター
12月	令和4年度人事考課幹部ミーティング	管理職
	感染症嘔吐物処理実践研修	相談係・医務係
	感染症(インフルエンザ等)対策研修	コスモス荘
	介護研修「冬季の運転における注意事項」・感染症対策研修(インフルエンザ等)、嘔吐物処理研修	やなぎの里
	実地指導の要点確認と対策	居宅支援センター
1月	アンガーマネージメント・身体的拘束研修	介護係
	復名報告	コスモス荘
	認知症について	居宅支援センター
2月	メンタルヘルス研修(役職者対象)	相談係
	身体拘束適正化・事故防止に関する研修	コスモス荘
	介護保険、各事業所の加算について	居宅支援センター
3月	B C P(業務継続計画)について	やなぎの里
	看取り介護・人生の最終段階におけるケアについて 腰痛体操・復命報告「介護職職場定着実践研修について」、認知症ケア	機能訓練指導員、 相談係、医務係、 介護係
	復名報告	コスモス荘
	通報避難訓練	いちごの里
	反省 次年度の研修内容について	居宅支援センター

備考	<ul style="list-style-type: none"> * 人事考課者研修は別日を設けて行う。 * 社用車の取扱い方について適宜実施 * ケアプラン（施設サービス・個別機能訓練・栄養ケア・看取りケア）について適宜実施 	総務課 介護係
----	--	------------

表2 **令和4年度地域交流行事（実施）**

実施予定月	交流行事	対応事業所・実施場所等
4月	塩津育成会資源ごみ集団回収	こうのとり荘 コスモス荘
6月	トライやるウィーク生受け入れ	各事業所
	塩津区クリーン作戦	塩津区
	塩津中学部資源ごみ集団回収	コスモス荘
8月	盆踊り大会	コスモス荘
	沖加陽区秋日役	沖加陽区
10月	塩津区(育成会・中年会)だんじり訪問	こうのとり荘 コスモス荘
	沖加陽区(育成会・中年会)だんじり訪問	いちごの里
11月	塩津育成会資源ごみ集団回収	コスモス荘
3月	豊岡高年クラブ連合会「趣味の会発表会」	長寿園
	北中学校ボランティア（毛糸たわし寄贈）	コスモス荘

II 理事会・評議員会及び評議員選任・解任委員会

1 役員、評議員及び評議員選任・解任委員の異動

(1) 理事について

- ・異動はありません。

(2) 監事について

- ・異動はありません。

(3) 評議員について

- ・児島義人評議員⇒岡田厚志評議員(兵庫県立日高高等学校 学校長)

(4) 評議員選任・解任委員について

- ・異動はありません。

(5) その他

- ・特にありません。

令和4年度末の役員及び評議員は、次のとおりである。